

# 株式会社 東北ケーブルテレビネットワークの 今後の展開

---

株式会社東北ケーブルテレビネットワーク

山形市あこや町1丁目2 - 4(ケーブルテレビ山形内)

TEL 023 - 624 - 8880 FAX023 - 624 - 8882

# 1. ケーブルテレビの歴史と取り巻く環境

---

## □ 現在までのケーブルテレビ歴史

ケーブルテレビは、1955年6月10日に、群馬県伊香保温泉において、難視聴対策(地域再送信)の為の共同受信設備が第1号とされております。以来、山が多く電波の届きが悪い地形の日本では、各地で**再送信**を目的とした共同受信施設が誕生してきました。

1984年1月23日BS-2Aが打ち上げられ、同年5月12日にはBS放送が開始され衛星元年と言われ、**多チャンネル放送**時代に突入し、その後通信衛星を活用したCS放送が開始され、更に多チャンネル放送サービスへのニーズが高まり、よりサービスの充実を図ることとなりました。

情報化社会が急速に進みことにより、世界の放送もアナログからデジタルへと変化し、**ブロードバンドインターネット**、地上波デジタル放送による本格的な**デジタル放送**時代の到来や、**IPマルチキャスト方式による新たな放送事業者**の出現により、放送と通信の融合が急務になってまいりました。

## □ 国内のケーブルテレビ状況

- ・国内ケーブルテレビ事業局数(自主放送を行っている施設) 368事業所(05年3月現在)
  - ・国内ケーブルテレビ多チャンネルサービス接続世帯数 1,903万世帯(06年3月現在)
  - ・国内ケーブルテレビインターネットサービス接続世帯数 323万世帯(05年12月現在)
-

## 2. 現在までのケーブルテレビの事業内容

---

### □ 地形難視聴対策

(地理的条件により地域の地上波放送が受信困難な場合の対策)

### □ 地域コミュニティ放送

(ケーブルテレビ局が独自で制作し、放送している自主放送サービス)

### □ ビル影難視聴対策

(高層建築物などによる受信障害を解消する対策)

### □ 多チャンネル放送サービス

(地上波放送、BS放送、CS放送の再送信サービス)

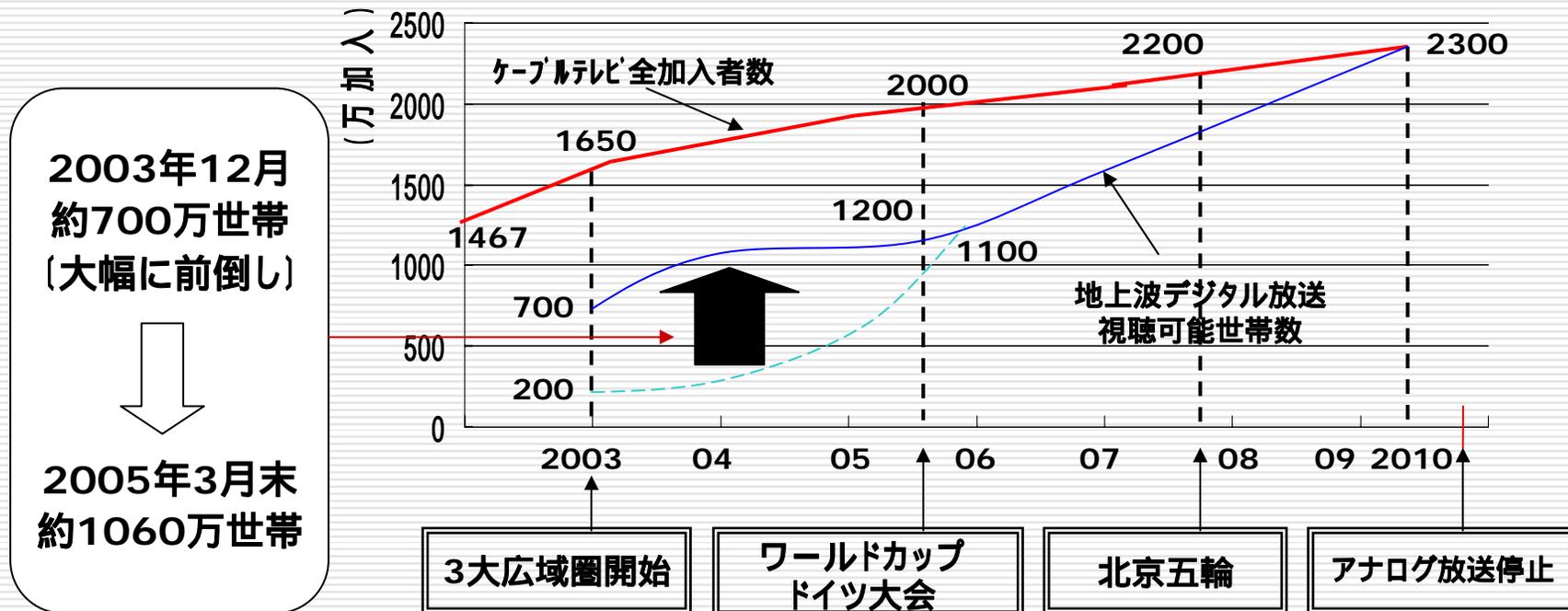
### □ ブロードバンドインターネットサービス

(大容量定額制のインターネットサービス)

---

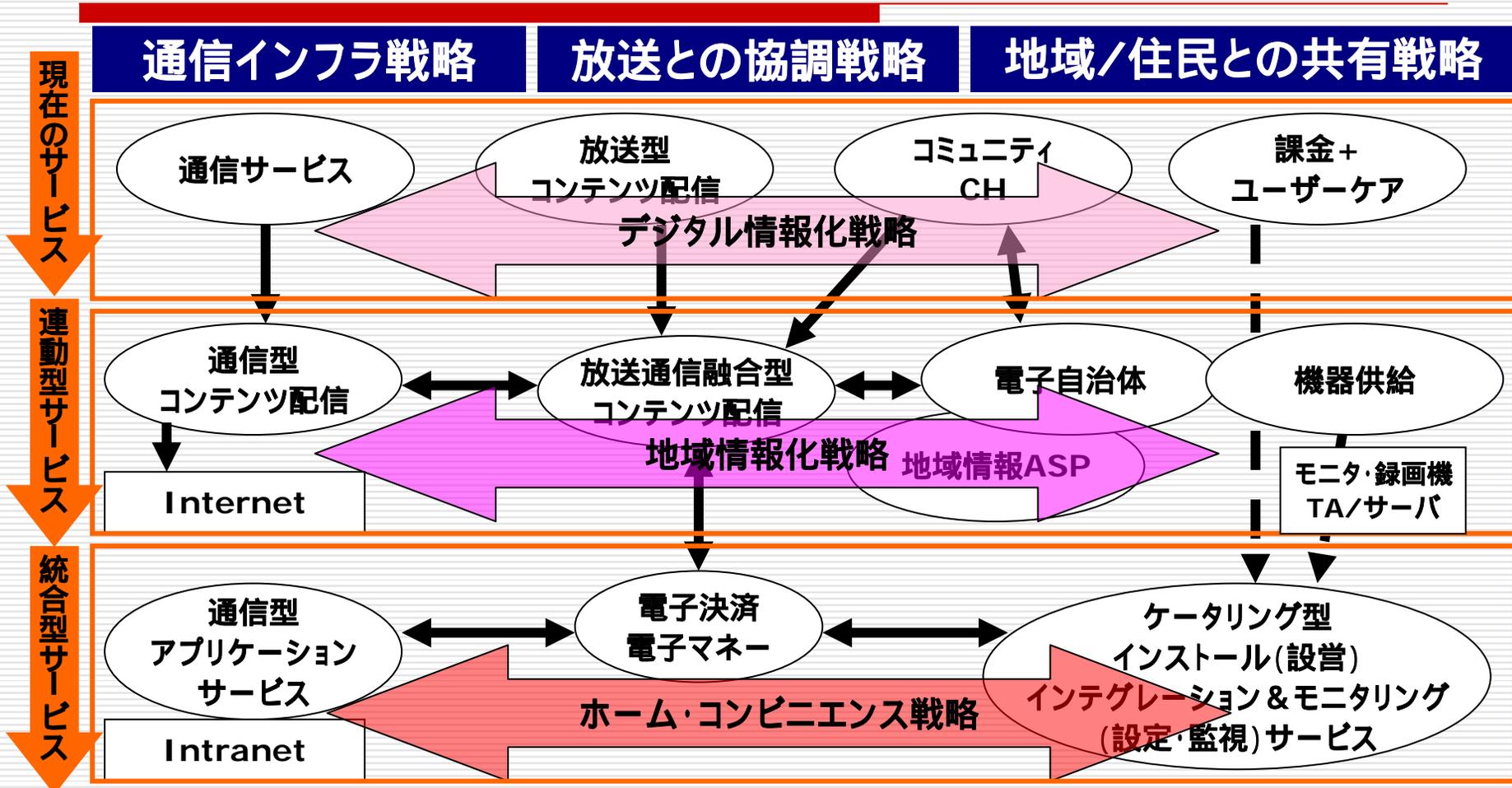
# 3. ケーブルテレビによる 地上デジタル放送の普及目標

- 国内のケーブルテレビ状況
  - ・国内ケーブルテレビ多チャンネルサービス接続世帯数 全世帯4952万世帯中1800万世帯加入(05年3月現在)
- 設定する普及目標
  - ・最終普及目標 2011年初頭まで全加入世帯(予測:最大約2300万世帯)

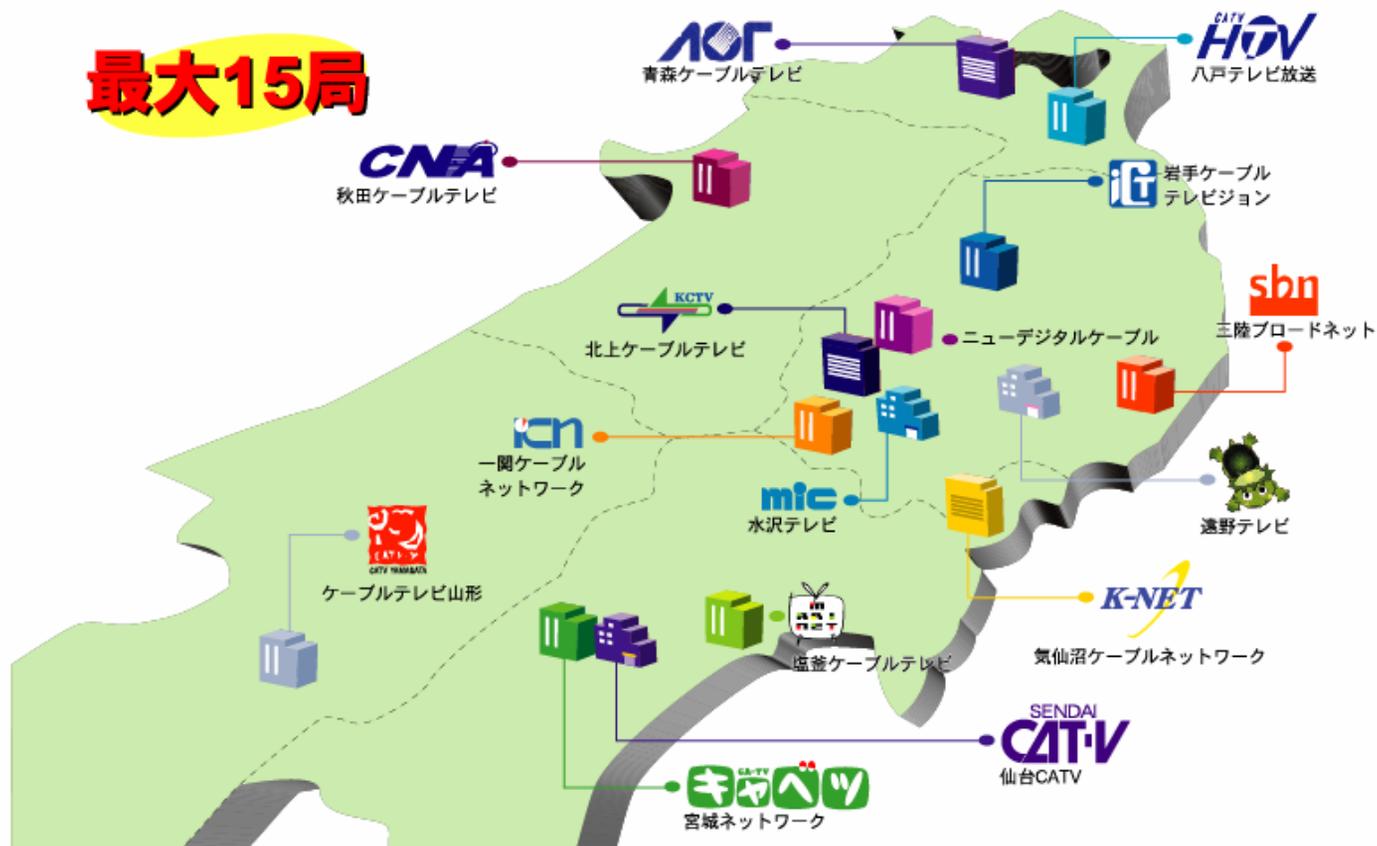


(社)日本ケーブルテレビ連盟「ケーブルテレビにおける円滑な地上デジタル放送の再送信に向けて」(2004年7月改訂)より

# 4. 今後のケーブル事業のサービス展開



## 5. 東北ケーブルテレビネットワークサービスエリア (検討中を含む)



# 6. 東北ケーブルテレビネットワーク(TCN)の 法人化設立趣旨

## □ 設立趣意

東北の都市型ケーブルテレビ局は現在18局を数え、その中で13局で構成された東北ケーブルテレビネットワークは広域ネットワークによる付加価値の創出を促進し、あわせて新規事業の開発を推進することを目的とした株式会社を設立したいと考えます。新会社は、広域ネットワーク化によるビジネスチャンスを収益事業として実現し、ケーブルテレビ事業の活性化とケーブルテレビ局の経営に貢献していく役割を担います。

## □ 発起人(案)

TCN、事務局、監事局、幹事局の3局で構成

・ケーブルテレビ山形 ・秋田ケーブルテレビ ・北上ケーブルテレビ

## □ 事業目論見(案)

1. 共同物品販売 (新型デジタルテレビ・ソフトコンテンツ)
2. 共同サービス提供 (ネット証券・ネットバンキング・ICカード)
3. 共同購入によるコスト削減 (番組ソフト・共通番組ガイド・機器機材)
4. 共同イベント開催 (山形国際ムービーフェスティバル(YMF)・共同番組制作)
5. 共同広告営業 (東北全域放送)

## □ タイムスケジュール(案)

平成18年4月中旬出資定式公募・株式払込 ・平成18年4月下旬会社設立

## □ 東北地域ケーブルテレビ加入世帯状況

ケーブルテレビサービス接続世帯数	29万世帯	視聴人口	116万人
ケーブルインターネットサービス接続世帯数	6万世帯		

# TCネットワーク視聴世帯状況

## 出資局

平成18年6月19日現在

局名	視聴世帯数	視聴人口	備考
株式会社ケーブルテレビ山形	28,338 世帯	85,014 人	
株式会社秋田ケーブルテレビ	34,282 世帯	102,846 人	
北上ケーブルテレビ株式会社	7,406 世帯	22,218 人	
仙台CATV株式会社	54,233 世帯	162,699 人	
塩釜ケーブルテレビ株式会社	10,539 世帯	31,617 人	
三陸ブロードネット株式会社	7,099 世帯	21,297 人	
青森ケーブルテレビ株式会社	26,000 世帯	78,000 人	

## 後日出資確定局

局名	視聴世帯数	視聴人口	備考
宮城ネットワーク株式会社	82,744 世帯	248,232 人	
株式会社一関ケーブルネットワーク	6,337 世帯	19,011 人	

## 業務提携確定局(出資不可)

局名	視聴世帯数	視聴人口	備考
気仙沼ケーブルネットワーク株式会社	6,430 世帯	19,290 人	出資検討中
岩手ケーブルテレビジョン株式会社	31,000 世帯	93,000 人	
株式会社遠野テレビ	8,674 世帯	26,022 人	
水沢テレビ株式会社	4,000 世帯	12,000 人	出資検討中

## 出資・業務提携検討局

局名	視聴世帯数	視聴人口	備考
ニューデジタルケーブル(花巻)	1,801 世帯	5,403 人	
株式会社八戸テレビ放送	21,111 世帯	63,333 人	

## 合計

項目	確定局
視聴世帯数	329,994
視聴人口	989,982

## 業務提携局13局

\*視聴世帯数・視聴人口は平成18年5月1日現在の集計値です。

# 1. 楽ねっとテレビとは？

居間のテレビで、誰でも、簡単に操作できるインターネット端末です。  
32インチ液晶テレビ、WindowsXP搭載PC、8インチディスプレイリモコンで構成します。  
従来の複雑な多機能リモコンによるテレビインターネットとは一線を画した、タッチパネルで直感的に操作できる端末です。  
CATV加入者にCATV局(または代理店、工事会社)を通して提供していきます。  
電源がいつでも切れる、ウイルス駆除が簡単など、家電感覚で操作性が容易なPC端末です。  
テレビ画像(NTSC)を見ながら、PC画像(RGB)の表示、操作が可能です。  
「放送と通信の融合」を実現する端末です。



## 2. 楽ねっとテレビの特徴 - 1

### 一体化構造

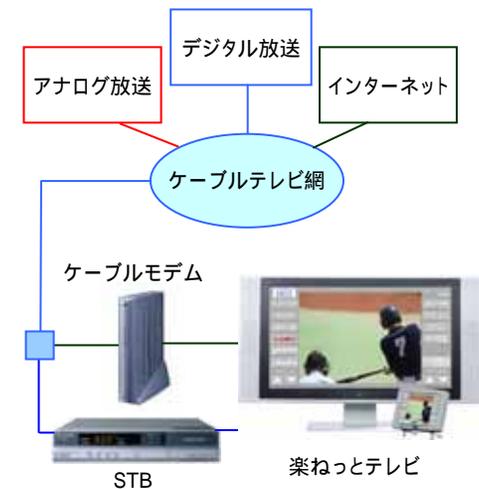
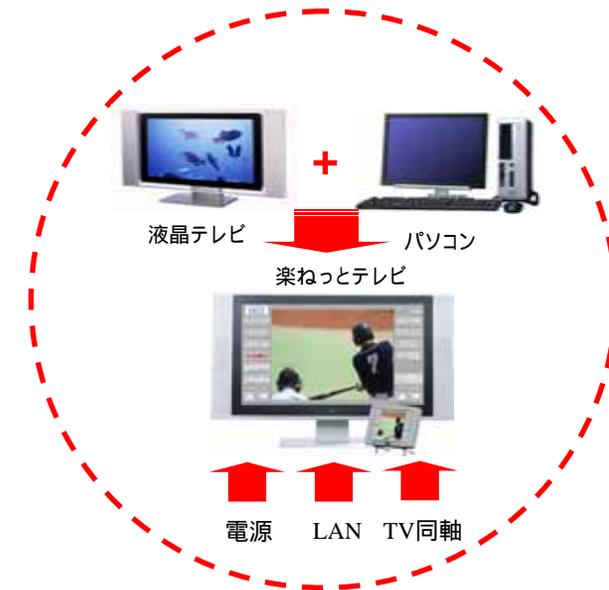
地上波テレビ局や一般インターネットサービスと比較した際のCATVの優位性の一つは、『同軸ケーブルで、放送サービスと同時に安定した帯域のインターネットサービスの供給』です。

楽ねっとテレビは大型液晶テレビにWindowsPCを搭載した完全一体化構造の端末で、接続は、ケーブルと電源だけです。

加入者は、居間にある楽ねっとテレビ一台だけで、別途にPCを用意する事なく、手軽にテレビもインターネットも利用可能な構造ですので、非PCユーザでも非モバイルユーザでもインターネットユーザとしてたくさんの便利の享受が可能です。

タッチディスプレイリモコンで、直感的に操作が可能です。

CATVの優位性を大きくアピールすることで、CATV局によるインターネットサービス加入を促進する狙いです。



## 3. 楽ねっとテレビの特徴 - 2

### タッチディスプレイリモコン(サブモニタ)

楽ねっとテレビは専用のタッチディスプレイリモコンで操作します。直感的な画面タッチのみでテレビを操作することが出来ますので、ボタン数の多い多機能リモコンは不要です。32インチメイン画面(WXGA)と8インチディスプレイリモコン(VGA)に同じ画像を同期させて表示する技術は、日本テクトが特許申請しているものです。

### 電源のON/OFF

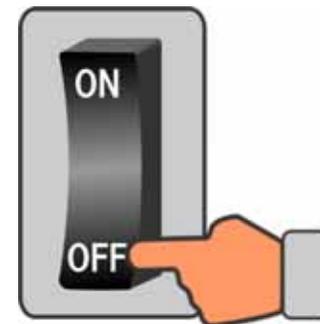
楽ねっとテレビは、家電感覚で何時でも電源のON/OFFが出来ます。PCの様な手間の掛かるシャットダウン操作も突然の瞬断による、システムダウンもありません。操作に迷ったら、電源OFFで何時でも初期状態に戻してやりなおせるので、PCのように初心者にも恐怖感を与えません。

### ウイルスも即撃退

インターネットでは無視できないウイルス感染も、楽ねっとテレビなら安心です。「電源OFF」だけで全てのウイルスが消えて、いつでもクリーンな状態でご使用頂けます。

### 社名、ロゴ自動表示

電源を投入すると「ケーブル」「ケーブル」など、CATV局の社名やロゴの表示も可能です。CATV局専用ひいてはCATV専用であることを加入者に伝える事が出来ます。



## 4. 楽ねっとテレビの特徴 - 3

楽ねっとテレビはテレビ機能とPC機能を兼ね備えた端末です。テレビ放送に様々なコンテンツを重ね合わせ、これまでにない「CATVならではの」双方向サービスを提供することが可能となり、運用の仕方によってはこれらの新規事業としての展開も可能です。

また、昨今話題の、本格的な『放送とインターネットの融合』を、テレビ局でもなく、インターネット・ブロードバンド関連事業者でもなく、CATV局が他業態に先駆けて実現します。

